

とっとり知らせたい!

TOTTORI SHIRASETAI!

「こんにちは鳥取市です」が「とっとり知らせたい!」に番組名をリニューアル! 2人のキャスターが「とっとり知らせ隊」として、鳥取市の取り組みや、まちの話題をお知らせします。【放送】毎週金・土

「とっとりレポート」では、市内各地の話題をレポートで紹介!! 「とれたてグルメ」では、鳥取の旬の食材をいただきます(〇〇)☆



みやっち

「ジオたび」では、地元ガイドが山陰海岸ジオパークの見どころを紹介!! 地域で活躍する人を紹介する「元気です!」も必見です。



えりっち facebookページ「とっとり知らせ隊」にも注目!

静止画文字情報 『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土

いなばぴよんぴよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木 ネットメロンやハウスブドウ、桃など収穫の話題や、水稻の穂肥についての栽培技術情報などを紹介します。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月 小学校の新一年生の元気な学校生活の様子を紹介する『こんにちは一年生』を放送中です。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火 子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月 ニュースやお知らせを手話や字幕で紹介。また、あいさつなど初歩の手話を1年間にわたり紹介します。

122ch (第2放送) 週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでじゃんしゃん体操を毎日放送中!

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください! いなばぴよんぴよんネット ☎0857-22-6111 ※放送予定は予告なく変更することがあります。番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。http://www.inabapyonpyon.net



穫れたての新鮮な魚が手に入る朝市も開催

当初は、仕掛けを保つロープを切ってしまうこともありました。作業が進むと、魚の影が見えてきます。「アジがよおける」「今日はアゴ(トビウオ)も入っとるぞ」。みなさんの大漁への期待が高まります。仕掛けの端までくると、いよいよ水揚げ。大きな網で魚をすくい、船上に引き上げます。「袋いっぱい魚を見れるのが、この魚の醍醐味」。

遠藤さんはうれしそうに語ります。午前7時に帰港。地区の人たちが、今日の成果を一目見ようと長尾丸を出迎えています。「どうだった?」「今日はまあまあ!」といったやり取りが、朝のあいさつ代わりに。この日はアジやトビウオ、チヌ、サワラなど、約350kgの水揚げがありました。「毎日このくらい取れるとありがたい」と遠藤さんは語ります。

前10時から11時まで、夏泊漁港では朝市が行われ、長尾丸が水揚げしたばかりの魚を扱うことができます。5月31日に行われた初めての朝市では30分ほどで完売したそうです。遠藤さんは、「地元の人に限りなく、多くの人々に」



漁師飯も楽しみの1つ

穫れたての魚を味わってほしい」とPRします。漁を終えた後は、仲間と反省会を行うのが日課。遠藤さんは「定置網漁は、1人の漁と違い、仲間と一緒に声を掛け合いながらできることが魅力」と言います。高木さんも、「みんなとの作業は最高」と喜びを噛みしめます。「定置網漁の取り組みを成功させ、活気のある夏泊を取り戻す」。長尾丸のみなさんは、大きな目標を胸に、仲間と苦楽を共にしながら、今日も海へ出港します。

シリーズ 元気です

148

夏泊に活気を取り戻す 小型定置網漁業を活性化の起爆剤に



鳥取県漁業協同組合夏泊支所

市内初の定置網漁業 鳥取県漁業協同組合夏泊支所、今年4月23日、鳥取市内で初めての小型定置網漁業が始まりました。定置網漁とは、決まった場所に網を仕掛け、回遊する魚を網に追い込み水揚げする漁法。特別な技術が必要とせず、短時間で漁を行える点特徴です。鳥取市の近隣では、浦富や御来屋地区で営まれています。この漁を行うのは、夏泊支所運営委員長の遠藤通さんをはじめ、夏泊地区出身の7人のみなさん。遠藤さん以外は、新たに漁師になりました。夏泊地区は、青谷町東部の75世帯ほどの集落。現在、約30人が漁を行っています。遠藤さんは「昔の半分以下になった」と遠藤さんは言います。

大漁が実感できる漁法 長尾丸は、月に1度の休漁日と大しけの日以外、毎日漁を行っています。午前4時30分に出港。「昨日は全く魚が」

上がらなかつたが、今日は入っていたほしい。港を背にする乗組員たちの胸に、期待と不安が入り混じります。漁場は、港から1キロほどの沖合に、長さ200メートル、幅50メートル、深さ22メートルの仕掛けが設置されています。漁場につくと、全員が持ち場につき、少しずつ網を引き上げ、魚を仕掛けの端まで追い込んでいきます。この際、全員の息が合わないと、仕掛けが壊れたり、魚を取り逃がしたりしますが、「同じ作業の繰り返しですが、危険もある」と遠藤さん。



定置網を引き上げると、大漁!